

取扱説明書

HATSUTA
蓄圧式

圧力計付

消火訓練用放射器具

テスター7



このたびは、ハツタテスター7をお買い求めいただきまことにありがとうございました。使用される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しい使い方をして下さい。なお、この取扱説明書は大切に保管して下さい。

注水口キャップは
出荷時取り外しております。

株式会社 初田製作所

⚠ 危険	取扱い上容器が破裂し重大な人身事故が発生し、「死亡または重傷などを負う切迫した危険状況を示す」内容です。
⚠ 警告	保管上及び使用上「死亡または重傷などを負う潜在的な危険状況を示す」内容です。
⚠ 注意	保管上及び使用上「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

テスター7は消火器ではありません。
絶対に消火用として使用しないで下さい。

●ご使用上の注意

お使いになる人や他の人への危害、損害を未然に防止しなければなりません。ご使用上の注意内容を見逃し誤った使い方をしたときに生じる危害、損害の程度を「危険」「警告」「注意」で表示しています。

消火訓練用としておすすめします

この商品は、水を使って消火器の正しい使用方法をマスターするものです。水と圧縮空気を入れると何度でも繰り返し使用できるため、消火訓練用としておすすめします。

●おすすめ先

消防署、警備保障会社、学校、病院、会社事務所、町内会、自治会、自主防災組織、防火クラブ、消防団、地方公共団体などにおすすめします。

使用方法

本体容器のラベルに表示しています。

消火器と同じ使用方法。もちろん消火器と同じ部品を使用しています。

- 1 上レバーの黄色の安全栓を上方向に引き抜く。
- 2 ホースをはずし、ノズルを火元に向ける。
- 3 上下レバーを強く握り、火元を手前からはくようにして放射する。

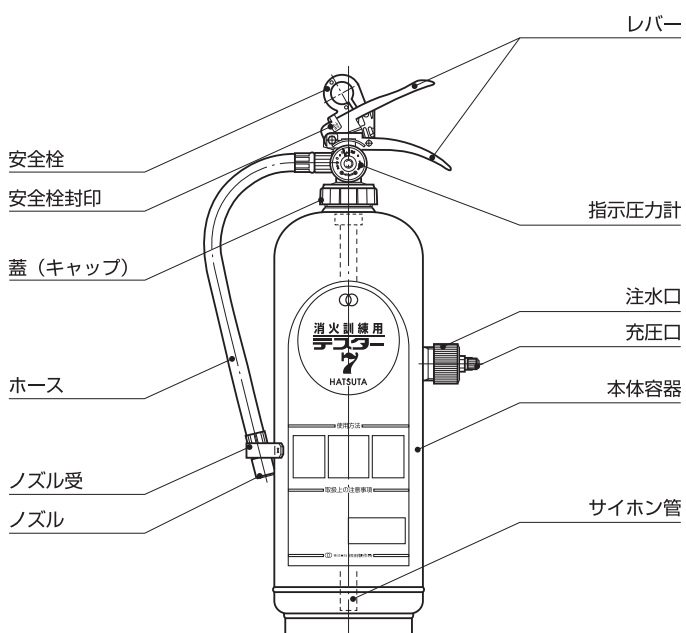


廃棄されるときは、販売店へ連絡して下さい

不用になったテスター7は事故防止のために、必ずお買い求めになった販売店か専門業者にお引き渡し下さい。

※分解、廃棄の処理には、費用がかかりますので有料処理となります。ご理解とご協力をお願いいたします。

各部のなまえ・構造図



外観図はテスター7(ストップ付タイプ)

〔ストップ付は、一度放射させても上レバーから手を離すと放射を途中で一時的に止めることができ有効放射が行えます。〕

製造元 株式会社 初田製作所
本社 〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3丁目5番地
<http://www.hatsuta.co.jp>

アフターサービスについて

お客様相談窓口 **0120-82-2041**
電話受付時間 10:00～12:00, 13:00～17:00(土・日・祝日を除く)

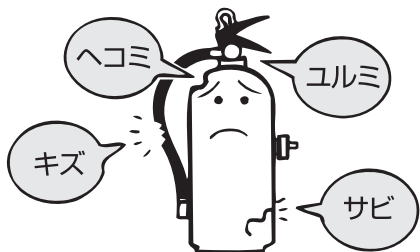
販売店

危険

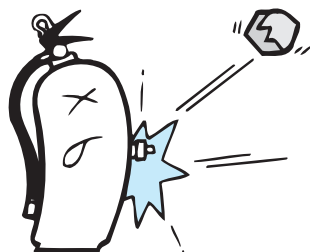
本体容器の破裂等により人身事故発生の恐れがあります。該当するテストターフは絶対に使用しないで下さい。また、取扱いは十分ご注意下さい。

1.サビ、キズ、変形(キャップのゆるみ)のあるものは絶対に使用しない

製造年から5年以内のテストターフでも著しいサビ、キズ、変形のあるものは、使用しないで下さい。



2.本体容器は圧力容器です強い衝撃を与えない



※テストターフを廃棄される場合は必ず販売店、または、製造元にご相談下さい。

警告

1.製造年から5年の耐用年数を過ぎたものは使用しない

本体容器の破裂により人身事故発生の恐れがあります。



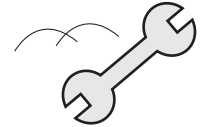
2.絶対に人に向けて放射しない

危害発生を招く恐れがあります。



3.絶対に分解しない

「注水口」以外の本体容器のキャップ、ネジ部等を緩めたり、分解しないで下さい。



4.清掃は、水洗いや有機溶剤(ガソリン、ベンジン、シンナー等)及び中性洗剤を使用しない

サビ、ホースの変質などの原因になります。



注意

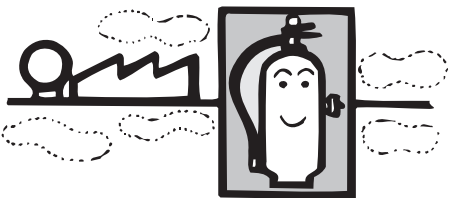
保管上の注意

1.高温・多湿のところに保管しない

本体容器の変質、サビの原因になります。

●直射日光の当たる場所・湿気の多い場所・潮風、雨、風雪にさらされる場所・腐食ガスの発生する場所(化学工場、温泉地帯等)での保管は格納箱に収納する等の防護策をして下さい。

●直接の床置きは避けて下さい。フック等による壁掛けまたは設置台、格納箱での収納をして下さい。



2.地震や振動で転倒・落下ないように保管する

3.使用しない場合は、圧力と水を抜き乾燥させた上で保管する

使用後の注意

1.使用したら圧力と水を抜き乾燥させた上で正しい場所に保管して下さい

使用上の注意

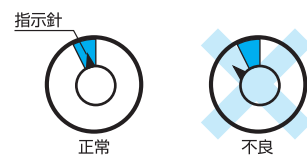
テストターフは消火訓練用です

1.使用する前に外観を点検する

異常を発見した場合は、速やかに販売店に連絡し、整備等の処置をして下さい。



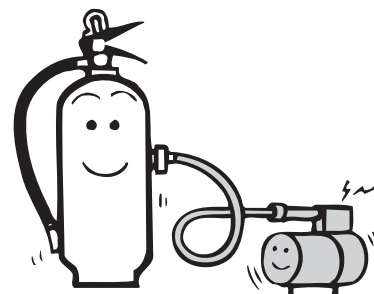
3.圧力計の指示針はグリーンゾーン以上には充圧しない(最高圧力0.98MPaまで)



●充圧方法

N₂ガス又は、ガソリンスタンド等のコンプレッサーにより、0.7~0.98MPaまで充圧して下さい。

(注) この放射器は米国式(自動車等に使用)バルブ(ネジ型式:TV8)ですので、バルブに合う口金を使用して下さい。



●充圧用具(オプション)

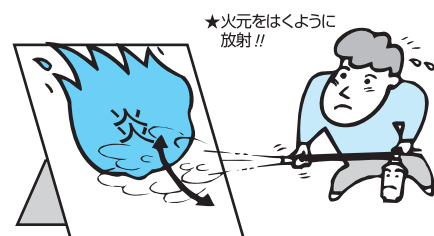
●窒素ガスボンベ ●コンプレッサー
●手付きピーカー5 Lを取り揃えています。

4.使用温度範囲内で使用する

使用温度範囲(+5~+40℃)外で使用すると、正常に放射できない場合があります。

5.正しい使用方法で放射訓練する

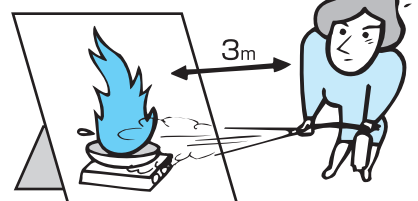
本体容器のラベルに表示している使用方法に従って放射して下さい。(消火器と同じ方法です) 炎に見たてた仮の物体に放射して正しい放射方法を覚えて下さい。



6.放射の際、近付き過ぎないようにする

油火災が発生した場合、油の飛散や、炎の吹き返しにより火傷等の恐れがあります。油火災に見たてた仮の物体で放射訓練して下さい。

★油火災の模型や絵などで放射訓練



放射開始時には、3m程度の距離を保ち、炎がおさまるにつれて接近していく様な訓練をして下さい。

7.ホースはしっかり握って放射する

ホースを手放すと放射方向が定まらず放射ができなくなります。

8.テストターフはなるべく垂直に保持して操作する

斜めになると放射の状態が悪くなります。また、逆さにして使用しないで下さい。

9.ホース、ノズルにキレツのあるもの、ノズルが離脱しているものは使用しない

10.繰り返して覚える

消火器の使い方は簡単ですが、イザという時、あわてて正しく使えないことがあります。繰り返し訓練を重ねて覚えることが大切です。

11.聞くより慣れる

放射を体験することにより慣れてきます。訓練は、多くの人々が参加し、全員が正しく理解できることが大切です。

12.あわてた時にも正しく使う

落ち着いて正しい放射をすれば、炎を消すことができます。その時、迅速に行動することが大切です。

テストターフは消火器ではありません絶対に消火用として使用しない